



創立平成 22 年 9 月 16 日

プロバスだより

東京日野プロバスクラブ

令和 3 年 3 月 18 日発行

第 122 号

「健康・安全を第一に、楽しく 持続的な クラブ活動を発展させよう」

令和 2 年度 (2020 年度)

会長 矢野 凱弓

幹事 渡辺 明

令和 3 年 2 月 18 日 通算 114 回 の例会はコロナ禍で中止

(クラブ第 11 年度 第 9 号)

理 事 会

令和 3 年 2 月 12 日 (木) 緊急事態宣言下で、高幡不動客殿は使用不能も多摩平ふれあい館で開催。理事 9 名が全員参加。2 月 9 日に急逝された泊谷会員に黙祷を捧げ 2 時間弱の会議。議事録を会報 121 号と共に会員に郵送。なお、幹事報告の中に会議内容の要約を再録。



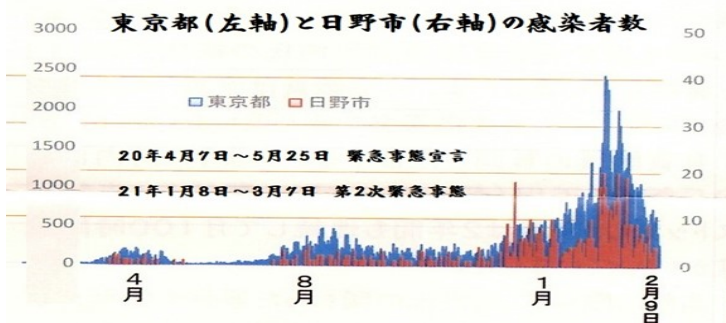
会 長 挨拶 矢野 凱弓 会長

例会委員会幹部として長らく活躍された、創立会員泊谷時男氏が 2 月 9 日に急逝されました。心よりご冥福をお祈りします。参列者の大変に多い、盛大なご葬儀でした。広い交友と真摯なお人柄が偲べれます。合掌。

季節は移ろい早くも桜の便りです。毎年伊豆の河津へ早春の桜を愛でに行きますが、今年は 10 年振りに家族旅行断念でした。3 月はまさにコロナ禍 1 周年です。

10 年前の 3 月 11 日は東日本大震災でした。日野も停電で信号が消え、ガソリンも買えない状況。創立間もない当クラブも初の例会中止を余儀なくされました。

それ以降は途切れることなく月例会が継続開催されてきましたが、昨年 3 月に事態は一変しました。その後の推移は次のグラフに明らかです。



さて、猛威を振るっていた感染第 3 波も漸く沈静化の兆しです。欧米に 2 ヶ月遅れですが、ワクチン接種も始まりました。我々の順番は 5 月からのようですが、とにかく初めての明るいコロナ収束見通しです。

マスクと 3 密回避は当分続きますが、暖くなれば部屋の換気も容易に出来ます。

3 月以降の例会再開を渴望しております。(2 月末記)

幹 事 報 告 渡辺 明 幹事

- ① 2 月例会は緊急事態宣言下であり、高幡不動尊境内の例会場も閉鎖されているので、開催中止が理事会で決定された。
- ② 十周年記念誌の校正作業が 2 月 21 日終了。印刷工程に入る。発行は 1 ヶ月遅れ 3 月下旬の見込み。
- ③ 全日本・五所川原総会へのアンケートにはコロナ状況が好転すれば 7 名が参加予定と回答。
- ④ 2 月 2 日の高幡不動尊節分会の豆撒式に、会長の代理で急遽、渡辺幹事が参加した。
- ⑤ 保母副幹事(会計担当)作成の 7 ヶ月収支実績表に基づき、各委員長と今後の活動予定を討議。

委 員 会 報 告

例会委員会：上期は 3 回のみだが、3~6 月は毎月の開催を目指す。誕生月スピーチ等で登壇の機会を増やす。

情報委員会：プロバスだより 121 号の発行。投稿を歓迎。

会員委員会：泊谷会員のご逝去で 2 月 18 日の会員数 37 名。休会 2 名で実働会員 35 名。

研修委員会：コロナ禍の収束次第だが、バス研修旅行等も検討中。

地域奉仕委員会：新選組まつり等への支援は予算通り執行。
ゴルフ同好会：*ロータリークラブとの懇親ゴルフを 3 月 11 日東京国際 CC にて開催。

*当クラブ独自の第 16 回コンペを長竹 CC にて 4 月 16 日に開催予定。



横山 好忠 会員

まだまだ現役で元気な泊谷時男会員が2月9日心筋梗塞で倒れ、あっという間に他界されました。人生の無常を改めて感じ、プロバスクラブでの活躍、生前の御交情に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。私と泊谷さんとの関係は約40年前から海のステーキ大洋軒・

で活躍されていたころから始まりました。グルメのステーキ店として三多摩地域では有名店で多くのファンが都内から有名な話題の時の人。(森繁久彌・ジャイアンツの選手等)も常連客として来ていました。彼の経歴は卓話のスピーチで皆様ご存じと思いますが、不幸にも戦後戦災孤児であったことから人一倍大変なご苦労を重ねそれを乗り越えてきた努力家であり、当時お店は大変繁盛していました。———時代の変化で(会社の接待費の節約・リーマンショックなどの影響で)経営が立ち行かなくなりお店を閉じることになりました。———その後二年間のブランクがあり、彼が60歳、還暦を迎えた時の事です、泊谷さんは、「私の夢である・初心に帰り、今までの経験から自分の一番得意とする美味しいものを提供できるお店を持ちたい!多くの人に喜ばれる事!この職業を天命として、社会還元の意味でも、もう一度何とか大洋軒を再出発したい」という強い熱い思いから(職人気質)、それを実現する為に(エンジェル会)を(資金調達)設立し、(泊谷さんの人柄を信頼して支援する仲間を集めることが出来ました)こうして2002年7月、彼はママと二人で力を合わせて夢であった大洋軒の再スタート。お店をオープンすることが出来ました。プロバスクラブでもきめ細かな心配りやアイデアの持ち主であり、諸活動に前向きな努力家であり活動家であり積極的に貢献されました。

平成12年TV番組(ありえへん食べ物店特集)でお店が紹介されました。それ以後、大洋軒の食事が俄然人気を博し予約客が3か月待ちの(ミュッシュラン)クラスの人気が出て大成功のPRが出来ました。それ以後、中々予約が取れない程の大盛況でした。

色々紆余曲折がありましたが、今までの弛まない努力の結果が報われ、これからは大繁盛店として益々張り切って意気軒高なところでしたのに非常に残念・無念な思いが一杯です。そして今回の強烈な(コロナウイルスの感染・緊急事態宣言)は飲食業関係が大打撃をこうむっている状況で、大洋軒といえども影響はあったと思われます。

今後の大洋軒は息子さんが香港で香港の彼の友人と同じような仕事で国際的に大活躍していたのですが、香港は例の中国の管理下問題?があり約半年前から帰国し現在の大洋軒をほとんど任されて働いている状況下でのご不幸であり、不幸ながら息子さんが引き継ぐことになり、幸い経営には殆ど影響がないようです。今後とも皆様の御最良を私からも宜しくお願い申し上げます。

これからの残りの人生! 人生とスポーツは後半戦が面白い!と御一緒に期待していたところ誠に残念でなりません。生前の御交誼、東京日野プロバスクラブへの貢献に感謝し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

泊谷さんの死去は奥様(ひとみさん)よりの連絡で驚きの内に知った。それは泊谷さんが亡くなる前日に我が家に来ていたからである。

付き合いはある会に入って、泊谷さんのお店に行くからで、それから月に一度夫婦と仲間と行き、美味しい食事をさせて頂いた、その後、葬儀当日に手伝いをして頂いた細川さん(手打ち蕎麦や)夫婦と3家族でのお付き合いが始まり、泊谷さんから美味しい店が有るから行こうとの言葉で、仲間を誘ってレンタカーで「真鶴にある・うに清」と言う舟盛りで有名お店に行った、新鮮で本当に美味しかった。その後は泊谷さんのお店の休みに合わせ、都合のつく人で近隣の美味しいグルメ旅や花を見る旅を行ってきましたが、後日反省会と言う名目で飲み会をするのが目的で、飲み会では、良く気がつき、あの身体で良く入るな〜とビールを飲む姿はもう二度と見られないのは、本当に寂しい限りです。

先日、家に来たとき今年もコロナが終息したら又、「何処かへ行こうよ」言葉が思い出されてなりません。(合掌)



2015年10月(真鶴半島)



2019年4月(茨城ひたち海浜公園)

「リーチ一発!」泊谷さんの笑顔がもう見られない!!

小島 馨 会員

泊谷さんとの交流は、横山さんが記しているエンジェル会(横山さんが中心となって立ち上げた会)のメンバーとしての係わりからですが、再スタートまでのことが走馬灯のように思い出されます。

料理の食材の件で、北海道の(榎内東部)へ仲村社長(当時)を訪問したこと。エンジェル会メンバーの月例食事会ではアットホームな雰囲気、ひとみママの創作サラダとステーキを堪能させていただきました。

コロナ禍で食事会や趣味の麻雀も減りましたが、今年になって二度、卓を囲みました。仲間の皆さんが「もっと楽しみたかった」と口を揃えておりました。

沢山の思い出を偲び、感謝し心からの御冥福をお祈り申し上げます。

編集・発行: 東京日野プロバスクラブ 情報委員会

大島芳幸、魚住 徹、篠原昭雄、山本英次、小西弘純 本部 皓允 小林昭治

ホームページ: <https://www.hinopc.com>

検索には「日野プロバス」でクリック!!

若しくは、QRコードを読み取ってください

